

朝ぼらけ 宇治の川霧

たえだえにあらはれわたる

瀬々の網代木

中一二三

夜がほのぼのと空けていく頃、宇治川一面に立ち込めた川霧が
とぎれとぎれに晴れてきて、其処此処の瀬々にかけた網代木が
次第に見えてくる。
(百人一首六四番 権中納言定頼)